

# にし西

## ■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz  
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

## ◎区民のページ 2006・3



まちの人



札幌市環境保全アドバイザー  
(日本野鳥の会札幌支部事務局長)

すみとも じゅんこ  
住友 順子さん

○札幌市環境保全アドバイザーとは  
環境保全活動を支援するため、専門分野の講師を派遣する制度。なお、市民の負担を軽減するため、講師の派遣費用は市が負担している。

詳しくは札幌市環境プラザ(TEL728-1667、FAX728-2112)まで。



■バードウォッチングの様子(円山公園)

琴似在住の住友さんは、札幌市環境保全アドバイザー「自然観察・自然保護」の講師の一人として、野鳥や野の花について教えています。住友さんがアドバイザーになったのは、この制度ができた平成五年のこと。各区で催されたいた講座で自然観察会の講師をしたことがきっかけでした。現在は年に数回主にPTAなどのグループから講師を依頼されています。「講義に参加した人たちに、野鳥の観察を通じて身近な自然の大切さを感じてもらいたい」と話す住友さん。子どものころは野鳥に全く関心がない

## 身近にある自然の大切さを伝えたい

かかったようですが、その気持ちが変わったのは、ウトナイ湖でカモの仲間であるキンクロハジロを見てから。春先だったにもかかわらず「初めて望遠鏡で見た鳥の姿に感激して」寒さを忘れたといいます。そこで一緒に自然観察をしてきた仲間から野鳥のことを教わるうちに、日本野鳥の会札幌支部の活動に携わるようになったそうです。

野鳥の観察は季節ごとに見られる鳥の種類が変わり、一年中楽しむことができます。春は野鳥が多く飛来してバードウォッチングに向いているといわれていますが、初心者には冬が良いそうです。春は野鳥が木の葉や草に隠れていて観察が難しく、数が多くて名前が覚えられないこともあります。しかし、冬は木の葉が落ちて観察しやすく、一羽ずつ確実に見ることができるところから、おすすめです。

これらの活動を長く続けられるのは「堅苦しく考えず、野鳥や自然が好きで、観察会に行く先々で新しい発見を楽しんでいるから」と語る住友さん。これからも身近にある自然の大切さを伝える活動を続けていきます。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール [nishi@city.sapporo.jp](mailto:nishi@city.sapporo.jp)、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。